Your World First

CMS Law.Tax

ロシア、並行輸入合法化の方向へ

2019年1月

Русская версия

連邦反独占庁(FAS)は、ロシアへの並行輸入を認可するために民法典を改正する連邦法草案を作成した。当該改正は、2021年に施行される予定であり、5年を限度に、ブランドオーナーの許可なく、一定の物品の輸入をロシア政府が認可することを認めることとなる。

「並行輸入」という用語は、商標権所有者の許可のなく、商標権者が製造した原物や商標を付した製品をロシアへ自由に輸入することを意味している。この場合、製品は、権利者、正規輸入者または正規代理店によって輸入されるのではなく、(メーカー・ブランドとは無関係な)企業又は個人によって輸入される。現行のロシア法制によると、並行輸入は、商標独占使用権を侵害するものと見なされ、禁じられている。

FASは長期にわたりこの原則を変更しようとしてきた。2016年には、反独占庁長官は、薬品、自動車部品、こども用品等一定の種類の物品の並行輸入を合法化する予定である旨宣言した。2017年夏には、FASはこの分野での活動を継続し、正規輸入代理店ではない会社によるブランド品輸入を不当に制限する著名な自動車製造会社への警告を発令した。これらの制限は、独占禁止法違反であると見なされた。

2018年2月には、権利者がロシア市場への物品の輸入に関して制限を課し、または、故意に、そして、不当にその製品に高値をつけることによって商標に関する独占権を濫用している場合等一定の条件における権利所有者の同意なき原物の輸入をロシア憲法裁判所は許可した。

この新法案に従い、2021年1月1日より、ロシア政府は、最長5年間ある種の物品の輸入を一時的に許可する権利を有することとなる。今のところ、どのような種類の物品が一時的並行輸入の物品に該当するかは不明である。

しかしながら、法案には既にロシア政府が一時並行輸入を認めることができる4つの状況が定められている。

- 物品がロシア市場において入手できない場合
- 輸入された物品が市場において入手可能であるが、品質が不十分である場合
- ロシア市場で入手可能な物品の品質と同様の品質の類似物品が海外で販売されている場合、
- ロシアにおいて高値で輸入物品が販売されている場合

権利者は、ロシアへの並行輸入が認められる方向にあるということを心しておくべきである。今後予測される法的展開を踏まえ、本分野における立法府の発案に注意し、ロシア市場への製品の輸入に関する会社の方針を調整することが望ましい。CMSロシアは、引き続き、本分野の法的展開を監視し、報告いたします。

本アラートに関してご質問等ある場合は、CMSロシアのアントン・バンコフスキー、アナスタシア・エンチャコヴァまたは、いつものご担当宛にお問い合わせ下さい。



Anton Bankovskiy
Partner | Head of Intellectual Property

E anton.bankovskiy@cmslegal.ru



Georgy Daneliya
Counsel | Head of Japanese Desk

E georgy.daneliya@cmslegal.ru



Anastasia Entyakova
Associate | Intellectual Property

E anastasia.entyakova@cmslegal.ru